

学校だより

蓮沼中学校

令和8年度 第2号
令和8年5月18日発行
大田区立蓮沼中学校
校長 張替 健二

「目標をもち前向きな気持ちで」

新緑がまぶしい季節となりました。保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。新年度が始まり一か月が経過いたしました。お子様の学校生活の様子はいかがでしょうか。新しい学年、学級での生活にも少しずつ慣れ、緊張の中にもそれぞれのペースで前に進んでいる時期であると感じております。

生徒の皆さん、学年が上がりクラス替えとなった人、新入生として新たな生活をスタートさせた人、それぞれが新しい環境の中で日々を過ごしていることと思います。ゴールデンウィークで一息つき、自分の生活を振り返る時間をもつことができたでしょうか。

私自身も、この4月より本校で副校長として勤務することとなり、新たな視点で皆さんの学校生活や授業の様子を見させて頂いています。教室では、熱心にノートをとる姿、積極的に発言する姿、仲間とディスカッションを重ねながら学びを深めている姿が見られ、大変うれしく感じています。ある授業では、自分の考えをまとめた後、友達の意見を聞いて「なるほど、そういう考え方もあるのか」と新たな気づきを得ている姿が見られました。そして、30日(土)開催予定の運動会に向けて、体育授業や学年練習で励んでいる姿が頼もしいです。バトンの練習や、学年種目の練習で、皆さんが互いに声をかけあって上手になっていく姿をみて、本番がとても楽しみになっています。また、係活動や委員会活動では、自分から進んで役割を引き受け、仲間のために行動している姿も多く見られ、本校の良さを感じています。

一方で、この一か月の中で、学習内容が昨年度より難しくなったと感じている人や、クラスの雰囲気がこれまでと違うと戸惑いを感じている人もいるかもしれません。ゴールデンウィークのようなまとまった休みや、行事等の節目の時期は、自分自身を振り返り、これからの目標や計画を考える良い機会です。

私がこれまで子供達に伝え続けてきたことがあります。それは、「人はおおむね思った通りになっていく」ということです。一生懸命頑張りたいと考える人は、実際に学習や部活動に真剣に取り組むようになり、その結果として希望する進路や成果に近づいていく可能性が高まります。「今日は一回でも発言してみよう」「苦手な教科でもまずは提出物を丁寧にやってみよう」と小さな目標を決めて努力を重ねることが、自信や成長につながっていきます。ゆったりとした生活がしたいと望む人は、自分のペースで穏やかな日々を過ごせるかもしれません。日々を楽しみながら前向きに過ごす人は、周囲との関わりも豊かになり、充実した時間を重ねやすくなると思います。逆に、毎日が辛い、つまらないと思って過ごしていると、気持ちも沈んでしまう生活になってしまうかもしれません。だからこそ、皆さんには一つ一つの活動に目標を持ち、明るく前向きな気持ちで日々を大切に過ごしてほしいと思っています。

5月は、生徒総会や運動会など活動が多くあります。本校は、生徒の主体性を大切にする学校です。生徒の皆さんには、日々の授業や生活だけでなく、行事等においても、それぞれが自分なりの目標をもち、仲間と協力しながら、自分らしい形で力を発揮してほしいと考えています。そして、その過程そのものを楽しみながら、自己実現につなげていくことを期待しています。

保護者の皆様、今後とも、本校の教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

文責 副校長 福守 久子